

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和7年度 第4回入間市高齢者福祉審議会
開 催 日 時	令和8年1月29日(木) 午後1時30分 開会・午後2時30分 閉会
開 催 場 所	市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	小池 佐智子
出席委員(者)氏名	小池 佐智子、森谷 秀一、大村 清、高山 京子、瀧澤 啓次、 吉田 美佐子、幡野 敏彦、山下 恵久子、松本 より子、 宮澤 聖二、今井 英雄
欠席委員(者)氏名	東 一成、遠藤 学、青柳 貴久、森本 剛
説明者の職氏名	高齢者支援課 副主幹 西澤 孝文
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 会長挨拶 3 副会長選出 4 議題 (1) 入間市第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業 計画・(仮称)入間市認知症施策推進計画策定に係る部会の検 討について 5 その他 6 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	資料1 第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・ (仮称)認知症施策推進計画の部会の検討について(案) 資料2 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の各市の策定方法 について 参考資料 前回(令和5年度)策定時の経過
事務局職員職氏名	【福祉部】部長 須田 美菜子 【福祉部高齢者支援課】課長 井ヶ田 剛、副主幹 西澤 孝文、 副主幹 西澤 響子、主事 高橋 侑大、主事補 武井 陽菜 【健康推進部介護保険課】課長 下村 佳司、主幹 亀田 由紀子
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

■ 審議会の会議録に署名する委員については、松本 より子委員を指名した。

#### ■ 議 題

- (1) 入間市第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・(仮称)入間市認知症施策推進計画策定に係る部会の検討について  
事務局より、資料1、資料2、参考資料に基づき説明後、質疑応答を行った。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)
議長	議題(1)「入間市第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・(仮称)入間市認知症施策推進計画策定に係る部会の検討について」事務局から説明を願う。
高齢者支援課副主幹 (高齢者支援担当)	(資料1「第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画・(仮称)認知症施策推進計画の部会の検討について(案)」、資料2「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の各市の策定方法について」、参考資料「前回(令和5年度)策定時の経過」に基づき説明。)
議長	事務局からの説明について意見はあるか。
瀧澤委員	第1案、第2案とあるが、部会を作る場合、部会はいくつ作る想定であるか。
高齢者支援課副主幹 (高齢者支援担当)	現段階で確定ではないが、委員の出席や話し合いやすさから3部会程度がよいのではないかと考えている。
議長	3部会とは、計画ごとに一つずつという理解でよいか。
高齢者支援課副主幹 (高齢者支援担当)	そのような理解でよい。
瀧澤委員	3部会だと委員は分かれるが、職員側の対応が大変で事務量が増えすぎるのではないか。資料に記載してあるように、職員が現計画の評価や課題抽出を行いながら次期計画を作成するのであれば、部会は作らなくてもよいのではないか。市の職員が素案を作成し、審議会で審議をするということではよいのではないか。
宮澤委員	初めてなのでよく分からないため、前回の策定部会に携わった委員や職員がいれば、当時の状況を聞きたい。
議長	前回の策定部会6名のうち、私と東委員が参加していた。他の4名は退任されている。他の4名は慣れている方だったが、初めての部会参加だっ

発 言 者	発 言 内 容
	<p>たため、目的や何を協議すればよいか分からず難しかった。内容が多岐にわたっているため、資料を読み込むだけで精一杯だった。部会を作るのであれば、部会で何をするのかを明確にした方がよい。その時の感想としては、専門職等の色々な人の意見をもっと聞ければよかった。</p>
瀧澤委員	<p>前は会長と副会長が部会に出ていた。部会でまとまった意見であるため、審議会では意見が言いにくかった。</p>
宮澤委員	<p>前は2つの計画を1つの部会で審議をしたことについて、どのように評価しているか。</p>
高齢者支援課長	<p>2つの計画を一体的に作成したため、計画としては1つだった。介護保険分野は保険料や施設整備等の内容が多く、どちらかというと高齢者保健福祉計画の内容を主に審議していた。事務局として、どの部分を審議してもらいたいとはっきりとお示しできなかったことは反省点。部会で決まった内容を、部会に参加していない委員へ審議会で説明する形になり、結果として意見が出にくい状態が生じた。そのため、部会を作るのであれば複数にし、委員がいずれかに参加し、審議会では他の部会の内容について意見をいただければと思っている。部会の意見について批判をするのではなく、その部会を信用して意見を出していただく形を想定している。本日はまず、部会を作るのか作らないのかを審議いただきたい。</p>
今井委員	<p>資料1の案1について、委員の半数以上の出席がないと会議が成立しないとあるが、委員の半数以上はどのように考えるのか。部会への出席に際して審議会とは別に報酬は支払われるか。</p>
高齢者支援課長	<p>会長と副会長を除くと委員は13名。3部会に分かれると4名程度となり、そのうちの半数なので2名以上の出席が必要となる。部会についても報酬は支払われる。</p>
吉田委員	<p>前回の部会の出席率はどうだったか。出席率が低い場合、2名で審議することに不安もある。出席率によっては3部会ではなく、1つの部会にするという方法もあるのではないか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高齢者支援課長	<p>前は立候補で選ばれた方が多かったこともあり、出席率が低いことで会議が成り立たないことはなかった。</p>
吉田委員	<p>前回の部会は夜間の開催であったと思うが、時間の設定についてはどう考えているか。</p>
高齢者支援課長	<p>意見交換等はメール等を活用し、事務局において取りまとめを行うことを想定している。顔を合わせて行う会議については、必要最小限とし、委員の皆様が集まりやすい時間帯を考慮の上、参加しやすい日時で柔軟に設定していきたいと考えている。</p>
宮澤委員	<p>そもそも、高齢者福祉審議会の下に部会を設けると言いながら、メンバーは同じ。メール等でやり取りをすれば負担軽減にはなると思うが、事務局の負担は相当だと思う。国のようにメンバーを変えて審議し、上にあげれば意見が出ると思うが、同じメンバーで意見を出し合うことに意味があるのか。また、別のメンバーにするとなると選出等の課題もある。そう考えると、部会を作らず、審議会においてみんなで審議をした方がよいのではないか。そもそも論に戻ると、外部に対し、審議会と部会が同じメンバーであると説明をして格好がつくのか。</p>
瀧澤委員	<p>手順について知りたい。コンサルは入るのか。</p>
高齢者支援課長	<p>入る予定である。</p>
瀧澤委員	<p>現計画の評価は、コンサル委託の前か、後か。</p>
高齢者支援課長	<p>評価は職員が行う。コンサルがその評価結果もふまえて、原案を作成する。</p>
今井委員	<p>瀧澤委員や宮澤委員に賛成。前回を見ると、審議会前に策定部会を開催しており、審議会がうまく回るように開催しているようにも捉えられる。コンサルが入り、職員の意見も吸い上げるなら、優秀なコンサルであれば良い原案ができるのではないか。障害者福祉審議会にも参加しているが、外部の意見を吸い上げるために部会を設置している。</p>
松本委員	<p>審議会委員は他の役職を担っている場合もあり、大変忙しいと思う。前回</p>

発 言 者	発 言 内 容
山下委員	<p>の部会委員に話を伺ったところ、文言修正等が主だったと聞いた。部会は設置せず、審議会で審議すればよいのではないかと。</p> <p>職員の負担もあると思う。審議会は審議に専念するという考え方に賛成である。そのため部会は必要ないと思う。</p>
幡野委員	<p>前回の開催状況を見ると、部会を開催して審議会でチェックをするという流れに見える。審議会での審議のみでよいのではないかと。</p>
議長	<p>案2の「審議会委員による部会設置なし」でまとめたいと思うが、よいかと。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
森谷委員	<p>コンサルに委託する前に、審議会で、どのように委託し、どこをポイントに作成してもらいたいかを議論したい。事務局で検討してほしい。</p>
議長	<p>以上で本日の議題を終了する。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
<p>議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和8年2月26日</p> <p>議 長 の 署 名      <u>小池 佐智子</u></p> <p>議長が指名した者の署名      <u>松本 より子</u></p>	